

教育費

スキー場、リフトと券売機の改修

【佐々木委員】ペアリフト改修の状況と通常点検の頻度、また券売機の更新理由は。

【当局】主原動機周りの分解整備とワイヤーロープ類の更新を考えており、点検は月に一度と、シーズンの初めと終わりに行っている。券売機は長年の使用で新札にも対応できないため更新したい。

学校給食調理場の酷暑対策

【佐々木委員】給食保管場所に冷却設備を設置することのだが、施設の他の区域は、酷暑対策は対応済みか。

【当局】近年の酷暑から保健所の指導により、給食保管場所に真空冷却器などを設置する。合わせて、食材の納入

場所と研修室にも空調設備を設置したい。



タブレット更新時期

【竹田委員】令和7年度末更新だが、台数も相当であり、更新の方針はどうか。

【当局】購入台数は計965台を現在予定している。山形県GIGAスクール構想推進協議会による、県内市町村の共同調達での更新を予定している。

特別会計

介護保険

ヘルパー事業のニーズへの対応

【竹田委員】令和6年度、町社協がヘルパー事業から撤退した。現状や今後新たなニーズへはどう対応していくのか。

【当局】関係事業所などの尽力により、需要と供給は保たれているものと認識している。新たに申請があった場合、これまでどおりケアマネジャーより調整していただき、サービス提供ができると思う。必要な場合は、町から情報を提供し、安心してサービスが利用できるように対応していく。

公営企業会計

水道事業会計

耐震化に向けて

【竹田委員】能登半島地震を受け、国より耐震化の緊急点検及び令和6年度中に上下水道耐震化計画を策定するよう指示があったが、対応はどうか。



急げ耐震化

【当局】調査の結果、重要施設に接続する水道管路の耐震適合率が白鷹町24%、全国平均38%、同規模事業体の全国平均は23%となっている。今年1月に策定した計画は、町立病院までのルートを最優先とし、令和7年度から16年度までの10年間で耐震化を図る内容としている。

下水道事業会計

収益的収支の予算編成

【丸川委員】収益的収入及び支出において、赤字の予算編成となっている。こうした現況を経営戦略改定でどのように検討されていくのか。

【当局】赤字という形で計上したが、内部留保資金で対応するので、資金が不足するということはない。経営戦略では新たな10年間を描いていく取り組みなので、経営審議会で十分議論し、ご意見をいただきながら改定案の策定を進めていきたい。

